

小倉革正會は從來八幡の官勞同志會と共に官勞九州同盟會として九州協議會に加盟してゐたのであるが、同志會が解體して製鐵勞働聯合會と合體して日本製鐵從業員組合を結成したので、小倉革正會を勧誘して、大會までに正式代議員を出席せしめることにし、本委員會の決議を以て先づ加盟勧誘の文書を送り、更らに委員を派してこれを實現せしめる。

### 會計報告

自昭和七年十月  
至昭和八年十月

收入之部 加 盟 費  
一金壹百拾四圓也

支出之部

一金八拾壹圓拾五錢也

内 譯

一金參圓拾四錢也

結成大會費用

一金五圓九拾七錢也

通信及交通費

一金四拾五圓也

常任書記手當十三月分

一金貳拾圓也

故西、今岡兩氏葬儀弔花代

一金七圓四錢也

文房具費

差引殘高 金參拾貳圓八拾五錢也

### 加盟組合の改組

この一年に、わが九州協議會加盟團體にその陣容強化の二つの大きな改組が行はれた。その一つは官業勞働總同盟同志會と

日本製鐵勞働組合聯合會の合同に依る日本製鐵從業員組合の結成であり、他は全日本港灣從業員組合聯盟の單一組織化であつた。

從來同志會と鐵師は大々別個にわが九州地方協議會に加盟してゐたが、第六十四議會に於て所謂製鐵官民合同法案が成立し日本製鐵株式會社の設立を目前に控へ、製鐵所が營利經營になれば從業員の勞働條件、福利共済施設も國營時代と異なることも起り得ることを見越し、本春一月より前後四ヶ月に亘る製鐵官民合同反對の全從業員の自主的闘争の體驗に鑑み、強力なる全從業員の組織と結束を以てその生活權を確保し、全從業員の製鐵國營の信念を實踐の上に反映させるため、同志會、鐵師を合同し、從來は兩組合に關係のなかつた從業員大衆も製鐵官民合同反對同盟を通じて合體し、茲に製鐵所全從業員が超聲してゐた製鐵所勞働組合の單一化が實現されて去る八月二十六日八幡市壽座に於て日本製鐵從業員組合の結成人會が舉げられた。わが九州地方協議會は製鐵所全從業員の將來の福利のため、日本の製鐵産業の前途のため日本製鐵從業員組合の結成を正から視し、代表者を派してその結成會に視察を送つた。日本製鐵從業員組合は直ちに日本勞働組合會議に加盟し、わが九州地方協議會へ参加の手續をとつた。わが九州地方協議會加盟團體に在籍兩團體の名稱が消へ、新しき組合一つになつたけれどもその陣容の充實、整備は新勢力を數倍化して健實なる勞働組合主義徹底の九州地方に於ける聖戰にこの新銳の戦友を得たことは感極に堪へない。

更らに日本港灣從業員聯盟は門司海女同志會、戸畑海女同志會、山口縣海女同志會として九州地方協議會に加盟してゐたが全國的統制の緊密化と陣容強化のため單一組織化を實現して去る九月二十二日神戸市に於いて日本港灣從業員組合の結成大會を開催した。全國的統制と緊密なる連絡の許にその壓力を増大した日本港灣從業員組合は夫々戸畑支部、門司支部、山口縣支部としてわが九州地方協議會の重大支柱を構成し、九州地方の健實なる勞働組合主義の城郭は愈々強化して健全なる發展を續けてゐる。

### 製鐵所當局と折衝

十月二十八日の第二回委員會の決議に基き、十月三十一日午前十時久保田委員長と伊藤書記長は製鐵所本事務所に磯谷勞務